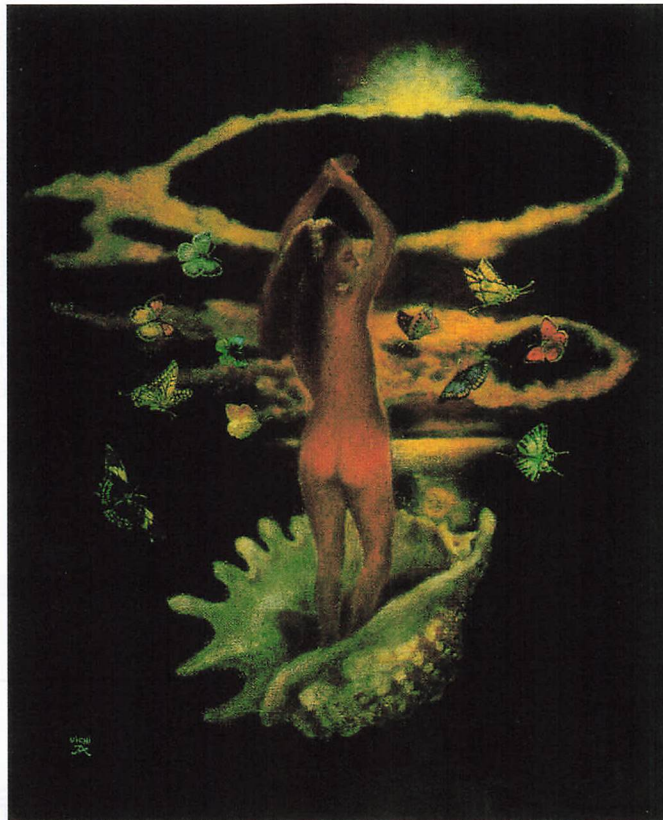


友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501
青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
TEL.0176-62-5858 FAX.0176-62-5860
e-mail.takayama-museum@town.shichinohe.aomori.jp



鷹山宇一 『海の誕生』 1973年 60.6×50.0cm
【〈描かれた女〉展出品（1973年、日動画廊主催）】

●……ミュージアムコレクションから ● 鷹山宇一『海の誕生』……

1973年、日本で最も歴史ある東京銀座・日動画廊を会場に「描かれた女展」が開催された。同画廊主催によるこの展覧会は、東京、大阪、名古屋を巡回し、その展覧会図録によると、「売るため」ではなく「見せるため」をコンセプトに開催された、とある。出品リストには、マネ、ルノワール、ドガ、ロートレック、そしてピカソ、モディリアーニなどヨーロッパ印象派からエコール・ド・パリまでの巨匠たち、また、梅原龍三郎、北川民次、林武ら当時活躍中の日本洋画界の重鎮たちの名前を見ることが出来る。

鷹山宇一の『海の誕生』は、これら作品たちとともに展示・紹介された。

漆黒の海と空。雲に遮られた太陽が今まさに出でようという間際の、天上の国から放たれたかのようなあたたかな光が辺りを金色に照らしている。貝殻のり、今日覚めたばかりという甘く気怠げな様子で描かれた女性を、色とりどりの蝶たちがやさしく包み込むように舞っている。まるで、待ち望んでいた瞬間を祝い、歓迎しているかのよう……。

当時「花と蝶」を描く画家としてすでに知られていた鷹山の作品にあつて、人物をメインに据えた作品は珍しい。生物の母体である「海」を「女性」になぞらえたこの作品は、イタリヤ初期ルネサンスの巨匠・ボッティチエリの「ヴィーナスの誕生」に靈感を受けたものであろうか？しかし作品はあくまでも東洋的に、ロマンチックな情緒を漂わせ、鷹山独特の幻想世界に表現されている。

1999年、縁ありて、鷹山の作品をこよなく愛した蒐集家たちの願いにより、作品が散逸することがないであろうこの美術館に『海の誕生』は納められた。以来、来館する多くの人々を魅了している。

（宇雲 大池 亜希子）

See The New Decade

平成17年度通常総会開催

平成17年6月18日、美術館2階工房において平成17年度友の会通常総会が開催されました。設立十周年記念事業が完了し新たな十周年に向けて決意を新たに今後の運営企画を決める大事な総会となりました。
また、第3回海外研修旅行企画も発表され、いよいよ募集を開始することになりましたので、会員皆様のご参加をお待ちしております。
総会終了後、人形作家・奈里多究星氏による「創作人形の歴史とその鑑賞法」と題する講演会を開催いたしました。

会長あいさつ

切りの良い数字で年月をまとめて捉えることは、洋の東西を問わないようです。手元の辞書を引いてみるとdecade(ディケイド)という単語があり、英語でも十年間を一区切りとして考えていることを知りました。
私たち鷹山宇一記念美術館友の会も、ひとつのdecadeを経過し新たな歩みを始めようとしております。
この十年間、友の会を通じて美術館に寄せられました会員の皆様の御厚情に、厚く御礼申し上げます。
ところで事業のあゆみを十年刻みで表す場合、私たち日本人も、創業の十年・建設の十年・発展の十年など三分することがあります。
友の会の活動も創業期にあたる最初の十年は手探りの繰り返しで、文字通り試行錯誤の末によりやく現在の

体裁を整えたとと言えるでしょう。皆様のご理解をいただきながら地道に活動が続けてきた結果、内外より会の存在意義を認知され、会員数も創立時の三倍以上に増加して400名を目前としております。大変有り難いことと思えます。
しかし、今のような変化が激しい時代にあつては、次の十年は建設と発展を同時に図る十年としなければならぬかもしれません。
美術館への協力活動、研修活動を通じて会員の自己啓発、会報などによる情報発信と相互交流などの一層の充実をはかるとともに、次の世代を担う若手会員の増強、児童・学生層へのサービスの提供なども今後の課題として検討する必要があります。
これからも会員の皆様のご意見を参考にしつつ次のdecadeを見据えていきたいと考えております。
山本洋一（友の会会長）

美術講演会を開催

「創作人形とその鑑賞法」

講師 人形作家 奈里多究星氏

友の会総会終了後に開催した美術講演会。今回は、平成14年に廃校になった七戸町の旧野々上小・中学校を今春から「現代創作人形専門の美術館・NonoUe人形の館」として甦らせた七戸町出身の人形作家・奈里多究星氏をお迎えし、創作人形について御講演をいただきました。

奈里多氏は、「創作人形の歴史は意外と新しく、顔を作る職人、衣装を創る職人達等のいわばプロダクションで人形が作られていたが、一人の作家が顔や衣装も含めて全体を創る『創作人形』というジャンルが定着したのは昭和10年代のこと。この第1世代から現代の自分達は第3世代に数えられるだろう。」と、その間の代表的な人形作家の作品写真を提示し創作人形の歴史を簡明にひもといて解説してくれました。また、創作人形を鑑賞するポイントと

して、①時間軸②素材とバランス③人形のすべては「顔」に集約されること④作家の思想性が表現されているか、などの4点をあげて、人形全体が語りかけてくるものを感じてもらいたいと語り、創作人形の世界に新しい風を吹き込む作家の意気込みを見せてくれました。



講演中の奈里多究星氏

NonoUe人形の館 ご案内

住所：〒039-2539
青森県上北郡
七戸町字中村55

Tel&Fax：0176-62-5678

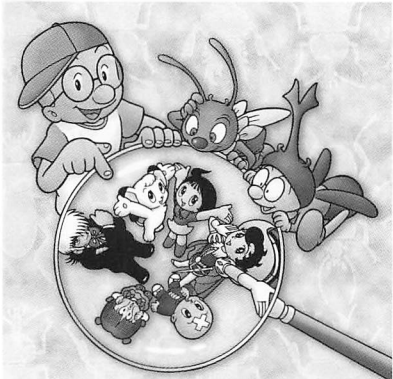
開館時間：10:00～17:30

休館日：企画展示期間中は
無休。詳しくはHPで

<http://nonoue.com>

入館料：一般300円
高校生以下無料

語り継がれる展覧会を
～新生七戸町誕生記念～
夏休み特別企画



©TEZUKA PRODUCTIONS

手塚治虫の ふしぎな 虫眼鏡

2005年 7月16日(土)

9月4日(日) 会期中は無休

あの感動をふたたび!!
手塚治虫展が鷹山宇一記念美術館へ



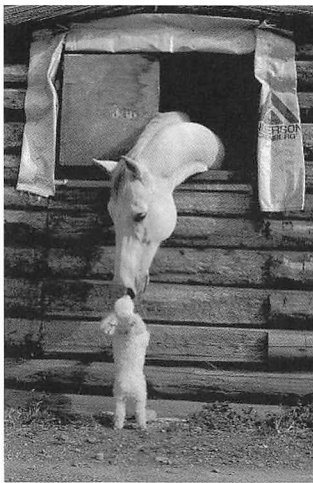
2000年夏、当館では「手塚治虫の世界展」を超えた夢ワールドを開催しました。不透明な時代だからこそ、子どもたちの夢を育み生命の尊さを伝えたいとの展覧会趣旨に、多くの方々から圧倒的な支持と共感をいただきました。「自然が僕にマンガを描かせた」と手塚自身も語っているように、手塚作品の根底には「自然に根ざした生命の尊厳」という一貫したテーマがあります。

子どもたちが野山を駆け回り、自然や昆虫と体全体で対話し、そこでの体験から様々なことを学んで行く...、そのような姿は何年か前にはどこでも見ることができました。しかし、最近は草木や森・林が減少し、自然と対話する機会がめっきり少なくなっています。

本展は手塚治虫の眼を通して見た空想の世界(自然・昆虫の美・神秘・大切さ)を疑似体験しながら、何年か前の子どもたちのように、新たな好奇心・冒険心・想像力をもつて命の大切さを再確認する場といたしました。本展を通じて地球環境の見直しをし、世代を時代を超えて今なお愛される手塚治虫作品の原点をご理解していただければ幸いです。

夏休みは美術館の手塚展へ!ご家族で是非ご来館下さい。お待ちしております。

第65回国際写真サロン



当館恒例の特別展として写真ファン待望の「国際写真サロン」は、本年、「第3回女性写真公募展」と併催して9月10日から10日間の日程で開催いたします。人物、風景、決定的瞬間など、写真表現の可能性に挑んだ入選作品全130点と、全日本写真連盟関東本部(富山、長野、静岡以東から北)

海道までの1都1道17県の女性会員をはじめ、その地域の一般や学生の女性を対象とした公募展から、個性あふれる入賞作品全50点を一堂に紹介します。国際写真サロン、女性写真公募展ともに、多彩な写真芸術に親しんでいただけましたら幸いです。

入館料は一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円。友の会会員の皆様はそれぞれの特典通りご入館いただけます。入館時間は午前10時から午後5時30分まで(閉館6時)。会期中は無休です。是非ご来館下さい。

夏休み特別企画 手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展 Information

- 入館料■
一般¥850(650)、高校・大学生¥500(400)、小・中学生¥300(240)
※就学前の幼児は無料。但し、小学3年生以下のお子様は大人の同伴が必要です。
※()内は前売券、20名様以上の団体、県民カレッジ受講者、JAF会員割引料金。
※前売券は、サークルKサンクス県内各店でお求めいただけます。
※友の会会員の皆様はそれぞれの特典で通常通りご入館いただけます。
- 入館時間■
午前10時～午後5時30分
※閉館は午後6時
※8月1日(月)は開館記念日につき、午後6時30分迄のご入館で、午後7時迄ご鑑賞いただけます。
- 展示替えのための臨時休館■
○7月4日(月)～7月15日(金)
○9月5日(月)～9月9日(金)

第3回女性写真公募展 9月10日(土)～ 9月19日(月・祝)

全日本写真連盟青森県本部主催 写真教室とモデル撮影会を開催

▼9月11日(日)午前10時～写真教室、同日午後1時30分～モデル撮影会
▼写真教室受講料は500円(入館料含む)
▼講師は未定▼写真教室は「第3回女性写真公募展」の講評を伺う予定です。

子どもたちのためのワークショップ
 だより
 美術館いちょう子くらぶ
 美術館あ〜と!くらぶ

鷹山宇一記念美術館では、平成14年度より始まった「ゆとり教育」を受け、地域社会の中の美術館として子どもたちの「生きる力」を育もうと、平成15年度から小中学生対象の鑑賞と造形体験の講座「美術館アトクラブ」を始めました。

今年度は、七戸町倉岡川の上流・銀南木地区にある県の天然記念物に指定された推定樹齢700年といわれる銀南木に着想を得て、『イチヨウ』をテーマとした全6回の講座「美術館いちょう子くらぶ」と、各回参加可能な「美術館あ〜と!くらぶ」の2パターンで活動をしていきます。

これらの講座が、子どもたちの美術・芸術に親しむ機会のひとつとして、また創作活動を通じて子ども同士がお互いの良さを味わう交流の場となりますよう、心より願っております。

この紙面では、子どもたちのワークショップの様子をレポートします!今回は先日終了した第1回、第2回講座の様子をご紹介します。

美術館あ〜と!くらぶ

▲第1回 6月11日(土)
 「木版画」カレンダー、年賀状を作ろう!(全6回)①
 ○講師||藤谷芳雄先生



▲第2回 6月25日(土)
 「銀細工」身近なものを作ろう」
 ○講師||片山雄介先生
 ○助手||廣田有布氏、松野数也氏

○みんなそれぞれ自由にデザインを考え作品を仕上げました。写真中央が助手の廣田有布さんです。



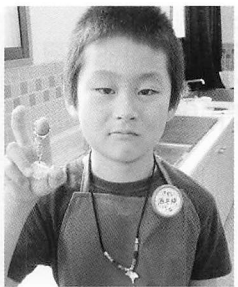
美術館いちょう子くらぶ

▲第1回 6月12日(日)
 「イチヨウを見に行こう!」いろいろなイチヨウ」

○講師||盛田典子先生
 ○十和田市法量、百石町根岸、そして七戸町のイチヨウを実際に見に行きました。七戸の銀南木では、このイチヨウを描き続けている盛田典子先生写真左から3番目)のお話を伺いました。



▲第2回 6月26日(日)
 「銀細工」イチヨウをモチーフにして宝物を」
 ○講師||片山雄介先生
 ○助手||廣田有布氏、松野数也氏
 ○「いちょう子くらぶ」のシンボルマークを銀細工で作りました。



美術館講座①
 大人のためのワークショップ
 シルバーアクセサリーづくり

6/24(金)

午前の部 10:00~13:00

午後の部 14:00~17:00

Report!!



▲講師は子どもたちのワークショップ同様に片山雄介先生です(右から2番目、一番左が助手の松野数也氏)。遠くは階上町などは内外から17名が参加しました。



世界でたった一つだけのアクセサリが完成!



近代美人画名作展から



七戸町と天間林村の合併を記念した特別企画展「福富太郎コレクション」近代美人画名作展（共催：東奥日報社・NHK青森放送局）は、大雪に見舞われたこの冬の名残をとどめる残雪風景に始まり、天王神社のつじも満開となった5月22日、盛会のうちに終了しました。日一日と春へと移行していく、そんな季節の流れと春の息吹を感じながら、振り返れば、まさに春とともに歩んだ52日間だったように思います。

お陰様をもちまして7、607人もの多くのお客様にご来館をいただきました。明治・大正・昭和と、その時代の世相や風俗を反映した作品も多く、また、描かれた女性たちの生活や感情に思いを馳せたり、特に女性にとっては共感する部分が多分にあった？展覧会ではなかったかと思えます。いかがでしたでしょうか。会期中は友の会はもとより、茶道裏千家七戸会、七戸町文化協会、県立七戸高等学校をはじめとする団体・個人のお力添えを賜り、開催式やお呈茶、監視ボランティア活動等、本展事業にご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



オープニングセレモニー



本展一番乗りのお客様

【下】弘前市からお越しの安田弘永さん、敦子さんご夫婦（左のお二人）当館名誉館長鷹山増子と館長・鷹山ひばりがお迎えしました。



【上】【左】冬の寒さが残る館内にホッと安らぎの一時をご提供下さいました。

【右】【上】新生七戸町誕生当日の3月31日、開催式・テープカット、特別内覧会を行い「近代美人画名作展」の開幕を祝いました。テープカットは右から、共催の東奥日報社事業局長・塩野勝幸氏、美術評論家・細野正信氏、出品作品を所有されている洗足池美術館館主・福富くみ子氏、共催のNHK青森放送局局長・福士良太氏。



茶道裏千家七戸会によるお呈茶のサーブ(4/10)



市内の小学生たちも授業の一貫として「近代美人画展」を観賞しました。【左】4月25日には町立七戸小学校6年生、5月6日には町立城南小学校3年生がご来館。60人の美人と出会いました。



「近代美人画名作展」 画集の販売について

本展では、限定販売の図録を製作しご好評をいただいておりますが、若干残部がございますのでここにご案内申し上げます。下記のとおり友の会特別価格にて頒布いたします。遠方にてお出掛けいただけなかった方、また、図録販売をお見逃しの方、本展の思い出に1冊いかがでしょうか？出品全作品をカラーで収録、個別解説付きです。送料は無料ですので、どうぞ美術館(TEL0176-62-5858)迄お問い合わせ下さい。

通常1冊 2,300円

↓
友の会特別価格
2,100円
(送料無料!!)

RAB恐竜ワールド

バスツアー締切間近!

友の会総会のご案内に同封したチラシで参加者を募りました「RAB恐竜ワールド」バスツアーは、只今お席に若干の余裕がございます。お誘い合わせの上是非ご参加下さい!

■日 時■平成17年7月28日(木)
9:00七戸南公民館出発/16:00帰着予定
行程等詳細は美術館迄お問い合わせ下さい。

■× 切■7月22日(金)
35名定員になり次第×切ります。お早めにお申し込み下さい。

■参加費■一人4,000円
(3才~中学生までの子ども2,000円)

入場料、昼食代、交通費込み
お子様がご参加される場合には大人の同伴が必要です

■お問い合わせ&お申し込み■
美術館 TEL0176-62-5858

「RAB恐竜ワールド」 ご案内

21の巨大恐竜たちが青森でやってくる!!
固定式模型展示にとどまらず、体験型恐竜遊具・音や光の演出が織りなす、東北・北海道では最大スケールイベント!!

模型は、「愛・地球博」でメインアトラクション「自走巨大親子マンモス」を手がけたスタッフが担当、世界トップレベルの造形をお楽しみいただけます。

—RAB青森放送「RAB恐竜ワールド」ホムジから—

- 会期=7/23(土)~8/17(水)
- 時間=AM10:00~PM5:00
- 会場=青森県営スケート場(青森市)
- 入場料=大人 1,300円
(当日) こども 1,000円
- ※こどもは満3歳児より中学生まで。2才以下は無料です。
- 問合せ=RAB恐竜ワールド事務局
(TEL017-743-4455)

当美術館において前売券をお取り扱います

	当日券	前売券
おとな	1,300円→	1,000円
こども	1,000円→	700円

美術館日誌

【3月】

- ▼4日/七戸町立城南小学校において移動美術館講座開催
- ▼5日/財鷹山宇一記念美術振興会平成17年第1回理事會開催
- ▼8日/火曜サロン開催
- ▼11日/鷹山館長東京出張(14日迄)
- ▼12日/七彩会油絵教室
- ▼16日/鷹山館長青森ホアプルバレスで開催の「JAF委員会」出席
- ▼17日/鷹山館長青森市出張
- ▼26日/財鷹山宇一記念美術振興会平成17年第1回評議員會開催
- ▼29日/展示替えのため臨時休館(31日迄)
- ▼30日/洗足池美術館館主・福富くみ子氏来館
- ▼31日/七戸町・天間林村合併記念特別企画展「福富太郎コレクション」近代美人画名作展「開催式及び美術評論家・細野正信氏ギャラリートーク開催

【4月】

- ▼1日/近代美人画名作展「初日
- ▼6日/NHK青森放送局番組内で「近代美人画名作展」を取り上げ放送
- ▼9日/七彩会油絵教室。友の会監査會
- ▼10日/茶道裏千家七戸会によるお茶のサービ
- ▼13日/美術館重油タンク点検
- ▼16日/財鷹山宇一記念美術振興會平成17年第2回理事會開催。友の会役員會及び友の会役員・美術館職員懇親會開催
- ▼20日/RAB青森放送本社において「手塚治虫展」打ち合わせ(鷹山館長、大池)。青森商工会議所女性會20名様来館
- ▼21日/美術館職員定例事務打ち合わせ
- ▼22日/子どものためのワークショップ「美術館あーと!くらぶ」木版画教室打ち合わせのため藤谷芳雄先生来館。「回想録」私の中国!中国のためにそして日本のために!鈴木継男さんの出版を祝う會(鷹山館長出席(八戸市))
- ▼23日/七彩会油絵教室
- ▼25日/七戸町立七戸小学校6年生
- ▼49名様史跡巡りて絵馬館を見学
- ▼27日/七戸福祉会デイサービ
- ▼28日/美術館職員定例事務打ち合わせ。「手塚治虫展」打ち合わせのためRABサービ

【5月】

- ▼6日/七戸町立城南小学校3年生
- ▼48名様「近代美人画名作展」を見学
- ▼9日/あおもり県民力レヅ連絡會議に鷹山館長出席。友の会海外研修旅行打ち合わせ

美術館新スタッフです



【右】鳴海哲也です。事務見習い中です。【左】佐伯知美です。本年から子どもたちのワークショップを担当します。

よろしくお願ひします

- ▼10日/学社連携検討會議に鷹山館長、大池出席(町役場七戸支所)
- ▼12日/八戸市と七戸町の子どものために交流ワークショップ打ち合わせのため、八戸市みなとまちづくり市民フォーラム桜沢氏来館。木蓮の會17名様来館
- ▼13日/鷹山館長、大池東京出張手塚治虫展打ち合わせ他、14日迄)
- ▼14日/七彩会油絵教室
- ▼15日/「青森県俳句大会」講演會講師として鷹山館長青森出張
- ▼19日/NHK青森放送局會議に鷹山館長出席
- ▼21日/財鷹山宇一記念美術振興會平成17年第3回理事會開催
- ▼22日/「近代美人画名作展」最終日。洗足池美術館館主・福富くみ子氏来館
- ▼23日/「近代美人画名作展」作品搬出。展示替えのため27日まで臨時休館。青森青少年県民會議講演會講師として鷹山館長青森出張
- ▼28日/七彩会油絵教室。常設展「鷹山宇一ミュージウムコレクション」展初日
- ▼31日/妙水苑デイサービ

わたしの おすすめ 美術館

玉堂美術館を訪ねて

七戸町 盛田 駿造

奥多摩のこの地を訪ねたのは五月の爽やかな緑の風の吹き渡る日でした。溪流の岩をはんでドウドウという音を立てて流れている眼下の多摩川。頬に心地良くふれてゆく緑の風。緑陰の中に玉堂美術館が建っていました。

文化勲章受章者・日本画家川合玉堂は晩年の十年余を、その生涯を終えるまでこの地で過ごしました。

美術館の建物は吉田五十八設計による数寄屋造りで、水平線を強調した端正で優雅な佇まいを見せていました。展示室はさほど広くはないが約四百点の所蔵品を季節などに合わせて展示替えをしている。十五歳と十八歳の時の写生帖は、対象を観る眼の確かさを物語っており、とても興味深かった。

アトリエも再現されており、庭は枯山水で、椅子に腰を掛けると、奥多摩の山が眼前にあり、大空の青と木々の緑が心地良い。

玉堂が生涯を通じて描いてきた山川草木、いざれも所を得て、静かに生き生きと描かれている作品そのものの世界であった。



玉堂美術館へは...

- 住所 東京都青梅市御岳1-75
- 電話 0428-78-8335
- 交通 JR青梅線御岳駅から徒歩3分
- 開館時間 10:00~16:30
(入館は16:00まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
年末・年始12月25日~1月4日
- 入館料 一般大人・大学生 500円
中・高校生 400円
小学生 200円
- その他 展示替は年7回
隣接画廊レストラン有

平成17年度友の会研修旅行

好評の友の会研修旅行。今年度は夏と秋の2回計画しました。7月31日の岩手県立美術館の「エルミター・シユ美術館展」ほかは、あつという間に定員となり、ただ今キャンセル待ちの状況です。うれしい悲鳴です。バスの定員の関係ですのて、ご了承下さい。

●秋の研修旅行について(予告)

- ◆秋は、仙台市の宮城県美術館の「大原美術館展」・「佐藤忠良記念館」と仙台市博物館で「円空さん」ほほえみの仏像展」を訪ねます。詳しくは後日別途ご案内申し上げます。
- ◆研修地 仙台市
- ◆時期 2005年10月23日 (日帰)
- ◆経費 未定

会員登録の更新と新規会員

入会お誘いのお願い

友の会平成17年度総会も皆様のご協力により無事終了しました。本年も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様方に芸術・文化に一層親しんでいただけるような企画により、地域文化の振興に寄与していく所存でございます。皆様には引き続き会員登録をお願い申し上げます。なお、更新手続きは、美術館窓口と郵便振替により随時行っております。

▽一般会員

会費(個人) 年度会費 3千円

▽特別会員

会費(個人・法人) 年度会費 1万円

▽賛助会員

会費(個人・法人) 年度会費 2万円

※詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

「手塚治虫展」 ボランティア募集!

7月16日から開催される「手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展」は夏休み期間中の開催。家族連れなどたくさんの方の入館者が見込まれます。展示品と観覧者の安全のため、館内を監視するボランティアや、インフォメーションサービスにご協力頂ける会員の皆様を募集しています。ご都合の良い日時を美術館までお知らせいただければ幸いです。

※期間：平成17年7月16日～9月4日まで
※詳細は美術館までどうぞ
☎0176-62-5858

決定！第3回友の会海外研修旅行

南仏、パリ「名画の風景と印象派を訪ねて」

2007年6月フランス美術紀行8日間

第3回友の会海外研修旅行をご案内致します。美しい花が咲く温暖な時期でフリープランも取り入れようと役員会で話し合い、人気の高い「南仏・パリ美術紀行」を企画致しました。紺碧の海岸の玄関口ニース、ピカソやセザンヌなどの偉大な芸術家を魅了したエクス・アン・プロバンス、魅惑の街パリなどで名画を堪能する美術紀行で、日程は、平成19年6月2日から6月9日までの8日間です。別添のパンフレットをご覧頂き、皆様お誘い合わせの上、ご一緒に「南仏・パリ美術紀行」を楽しみましょう。第1次募集締切は、平成17年12月28日です。

クロード・モネ 「睡蓮」



ニース・シャガール美術館「天地創造」 青はニースの海

編集後記 ★第3回海外研修旅行は、2年後の6月のフランスに決定。アメリカMETには？との意見もありましたが、次回以降となりまして、海外旅行は歩き歩きですね。今から競歩(?)の気持ちで散歩して足腰を鍛え、参加したいと思っています。★美術館では「手塚治虫のふしぎな虫眼鏡展」が始まります。お子さんがいらっしゃる方はお見逃しなく。大人も童心に還って十分に楽しめましょう。★今号も発行が大幅に遅れ申し訳ありません。(E.T.)

●紺碧の海岸への玄関口・ニース。旧約聖書の物語をテーマにした作品中心のシャガール美術館。天地創造を表現したステンドグラスが見応え！フオビスムの巨匠マティスの作品300点を所蔵するマティス美術館も楽しみ。旧市街を散策し、3日目はモナコ公園へ。

●青森のバリエンヌ&バリエンヌのフリータイム！パリの思い出づくりをお楽しみ下さい。ルーヴルやオルセーでゆつたり歩きましょう。アメリカの住むモンマルトルのアパートを探したり、シャンゼリゼでのショッピングはいかが？蚤の市やマルシェも楽しそうですね。

日 程 表

- 1日目** 平成19年6月2日(土)
七戸南公民館出発→八戸駅から新幹線「はやて」にて東京へ。夜、成田空港から空路パリへ(飛行時間約13時間30分) [機内泊]
- 2日目** 6月3日(日)
早朝パリ到着後、乗り継ぎで空路ニースへ。到着後、ニース市内観光。シャガール美術館、マティス美術館、旧市街など [ニース泊]
- 3日目** 6月4日(月)
午前中モナコ観光。大宮殿、グラヴリア、旧市街。昼食後エクス・アン・プロバンスへ。セザンヌの外見など [エクス・アン・プロバンス又はマルセイユ泊]
- 4日目** 6月5日(火)
アヴィニヨ市内観光。アヴィニヨ美術館、法王庁宮殿など。観光後TGVにてパリへ [パリ泊]
- 5日目** 6月6日(水)
パリ近郊バルビーズにて「モネの家と庭園」見学。パリ市内でワグネル美術館、ピカソ美術館、ポルトゥガールなど見学 ※ワグネル：お土産鑑賞予定 [パリ泊]
- 6日目** 6月7日(木)
朝食後、終日フリータイム。お楽しみ下さい。 ※詳細はパンフレット参照。コース料金は1年前頃決定 [パリ泊]
- 7日目** 6月8日(金)
朝食後、空港へ。13:15発で成田空港へ(約11時間35分) [機内泊]
- 8日目** 6月9日(土)
8:50成田空港着→東京駅から新幹線「はやて」にて八戸駅へ。到着後専用バスにて七戸南公民館へ。めでたく解散!

●巨匠セザンヌが生まれたい麗しの水の都でアトリエを訪ねます。途中セザンヌが何枚も描いたサント・ヴィクトワール山展望。プロヴァンスのワイン、料理、お菓子は絶品！数多くの古代ローマの遺跡や文化にも触れてみたいものです。

●晩年のモネの創作活動の舞台シエルニエ。「睡蓮」は、このモネの家の庭にある池で生まれたという。パリでは改修工事が終わるオランジュリー美術館や小さな美術館が魅力的。オペラ鑑賞もすばらしいパリの一夜。ひと味違ったパリを!